平成27年度 鳥取県立皆生養護学校 中学部 (単一障がい学級) 教育課程 (A)

1 教育目標 「高めよう自分の力 広げよう自分の世界 伝えよう自分の思い」

2 努力点・重点

- ・学習全般にわたって生徒の学力実態の把握に努め、多様な体験的学習を取り入れながら個に応じた学力向上に努める。
- ・生徒個々に応じて、より主体的な生き方をめざす意欲と態度の育成に努め、自分の考えや思いを伝える力を育てる。

3 年間授業時数等

指導の形態	教科等	努力点	1年	2年	3年					
教科領域別の指導	国語	・言葉の適切な表現や正確に理解する能力を育成し、自分の考えを自信をもって伝え合う力を高め、豊かな言語感覚を養う。	140	140	105					
	社会	・社会に関する関心を高め、国家や社会の形成者として、国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民的資質の基礎を養う。	105	105	140					
	数学	・数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な知識や技能についての理解を深め、生活の中で活用しようとする態度を育てる。	140	105	140					
	理科	・観察や実験等の活動を通して科学的に探求する能力の基礎と態度を育てるとともに、自然の事物・現象について科学的な見方考え方を養う。	105	140	140					
	音楽	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。	45	35	35					
	美術	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、主体的に美術の活動に取組み、美術を愛好する心情を深める。	45	35	35					
	保健体育	・個々の実態に応じて健康・体力の保持・増進を図るとともに、生涯を通じて運動に親しみ、健康で安全な生活を送ることができる能力と態度を育てる。	70	70	70					
	技術・家庭	・生活に必要な基礎的な知識及び技術の習得を通して、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的態度を育てる。	70	70	35					
	外国語(英)	・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。	140	140	140					
	道徳	・実態に応じた道徳的価値に迫る学習内容を設定し自分で判断し行動できる能力を育て、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。	35	35	35					
自立活動	・生徒個々の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容と指導方法の工夫に努める。 ・教育活動全般を通して、指導の充実に努める。	187	187	187						
総合的な学習の時間		・横断的・総合的な学習を通して主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	50	70	70					
計			1132	1132	1132					
特別活動	学級活動	・活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。			35	35	35			
	学校行事	4月	着任式 始業式 入学式 身体測定	7月	終業式	10月	皆生・ブライト・フェスティバル避難訓練	1月	始業式	1年 : 30 2年 : 31 3年 : 42
		5月	校外学習 避難訓練	8月	始業式	11月		2月		
		6月	皆生スポレク祭 宿泊体験学習	9月	修学旅行	12月	終業式	3月	卒業式 修了式 離任式	

4 生徒の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるために、行動が制約される傾向にあり、経験の拡大に支援を要する。
- ・障がいの多様化に伴い、個に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫が必要である。

5 研究課題：

6 特色ある教育活動

- ・学校間交流（近隣の中学校）や地域交流を実施し、多様な交流及び共同学習を通して経験の拡大を図り社会性を育てる。
- ・将来の生活を考える機会になるように進路指導旬間等を実施し、日頃の学習に生かす。

7 備考

- ・授業日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	16	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	200
2年生	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	201
3年生	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	8	192

- ・授業の1単位時間は45分とする。

- ・給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。給食指導の時間は、総計117時間とする。

平成27年度 鳥取県立皆生養護学校 中学部（単一障がい学級）教育課程（B）

1 教育目標 「高めよう自分の力 広げよう自分の世界 伝えよう自分の思い」

2 努力点・重点

- ・多様な体験的活動や問題解決的学習を取り入れた学習の場の工夫により学習意欲を喚起しながら学力向上に努める。
- ・生徒個々の障がいや能力の実態把握をもとに、個々の学習課題を明確にし、適切な学習内容で個に応じた指導に努める。

3 年間授業時数等

指導の形態	教科等	努力点	1年	2年	3年	
教科領域別の指導	国語	・日常生活に必要な国語の理解力や表現力を深め、伝え合う力を高め、豊かな言語感覚を養う。	105	105	105	
	社会	・社会に関する関心を高め、わが国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民的資質の基礎を養う。	105	105	105	
	数学	・指導内容を精選し、操作活動を通して基礎的な知識や技能の習得を図り、生活の中で活用しようとする態度を育てる。	140	105	140	
	理科	・観察や実験等の活動を通して、自然と自分の生活との関わりを考え自然の事物・現象について科学的な見方や考え方を養う。	105	140	140	
	音楽	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽活動を楽しんだり生活に生かしたりする態度や豊かな情操を養う。	35	35	35	
	美術	・表現及び鑑賞の活動を通して感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、楽しく美術の活動に取組み美術を愛好する心情を培う。	70	70	70	
	保健体育	・運動に親しみ積極的に活動することにより、健康・体力の保持・増進を図り、生涯を通じて運動に親しみ、健康的な生活習慣を身につけようとする態度を育てる。	70	70	70	
	技術・家庭	・体験的な学習を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技術を身につけ、より豊かに生活しようとする態度を育てる。	70	70	35	
	外国語(英)	・外国語を通して、言語や文化に関心をもち、コミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。	140	140	140	
	道徳	・実態に応じた道徳的価値にせまる学習内容の設定をし、自分で判断し行動できる能力を育て、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方についての自覚を深め、道徳的実践力を育成する。	35	35	35	
自立活動	・生徒個々の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容と指導方法の工夫に努める。 ・教育活動全般を通して、指導の充実に努める。	187	187	187		
総合的な学習の時間		・総合的な学習を通して主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	70	70	70	
計			1132	1132	1132	
特別活動	学級活動	・活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として、学級や学校におけるよりよい生活づくりや問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	35	35	35	
	学校行事	4月 着任式 始業式 月 入学式 身体測定	7月 終業式	10月 皆生・ブライト・フェスティバル	1月 始業式	1年 : 30 2年 : 31 3年 : 42
		5月 校外学習 月 避難訓練	8月 始業式	11月	2月	
		6月 皆生スポレク祭 月 宿泊体験学習	9月 修学旅行	12月 終業式	3月 卒業式 修了式 離任式	

4 生徒の実態、特性

- ・日常生活動作の一部に介助が必要である。
- ・障がいがあるために、行動が制約される傾向にあり、経験の拡大に支援を要する。
- ・障がいの多様化に伴い、下学年適応による個に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫が必要である。

5 研究課題：

6 特色ある教育活動

- ・学校間交流（近隣の中学校）や地域交流を実施し、多様な交流及び共同学習を通して経験の拡大を図り社会性を育てる。
- ・将来の生活を考える機会になるように進路指導旬間等を実施し、日頃の学習に生かす。

7 備考

- ・授業日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1年生	16	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	200
2年生	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	201
3年生	17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	8	192

- ・授業の1単位時間は45分とする。
- ・給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。給食指導の時間は、総計117時間とする。

平成27年度 鳥取県立皆生養護学校 中学部（重複障がい学級）教育課程

- 1 教育目標 「高めよう自分の力 広げよう自分の世界 伝えよう自分の思い」
- 2 努力点・重点
  - ・一人一人の将来を見通しながら障がいの実態や発達に応じた適切な個別の課題の設定に取り組む。
  - ・個々の生徒の課題と個に応じた支援を職員が共通理解し、一貫した指導が展開できるようにする。
- 3 年間授業時数等

指導の形態	教科等	努力点	I型	II型	III型	
教科別 領域別 の 指導	国語	・指導内容を精選し、多様な学習活動を積み重ねることによって日常生活に必要な国語を理解し、表現する能力と態度を育てる。	140	0 ～105		
	数学	・指導内容を精選し、操作活動を通して日常生活に必要な数量や図形などに関する初歩的な理解を深め、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。	140	0 ～105		
	音楽	・いろいろな音や音楽に興味・関心を持ち、集団での歌唱・器楽などの活動を通して、音楽を楽しむ心情と態度を育てる。	35	35	0～35	
	美術	・創作活動などを通して、表現する力、鑑賞する力、豊かな感受性を育てる。	70	0～35		
	保健体育	・運動や集団で活動する楽しさを味わい、健康・体力の増進を図るとともに、集団での活動を通して協調性・社会性を育てる。	70	35	0～35	
	外国語（英）	・生活や体験と結び付けて英語や英語の文化に親しみ、簡単な表現に興味・関心をもてるようにする。	35			
	道徳	・基本的な生活習慣を身に付けようとする意欲や態度を養うとともに、自主性、協調性、責任感を育てる。				
	自立活動	・個々の生徒の目標に向けて指導するとともに、新たな課題を見出すなどして生活全般を通して指導の充実に努める。	362～ 397	397 ～677	712 ～852	
各教科等を 合わせた指導	日常生活の 指導	・生徒の体調を観察し、健康・体力の維持向上に努める。 ・日常生活の基本的な習慣を身につけ、集団生活への態度・技能を育てる。	0～35	175	175	
	生活単元学習	・友達や物への関わりを促し、自発的に活動しようとする意欲を育てる。 ・体験的な学習活動を通して、日常生活に必要な基本的な事柄の知識・技能を身につけ、人とよりよく関わろうとする心情や態度を育てる。	210～2 45	210～ 245	70 ～140	
総合的な学習の時間		・興味や関心に基づく主体的な活動を通して、課題解決に向けた意欲を育てる。 ・主体的な探求活動や、まとめ・発表の活動を通じて他への働きかけの力を伸ばす。	35			
計			1132	1132	1097	
特別活動	学級活動	・指導方法の工夫と活動内容の充実に努め、自主的・実践的な態度を育てる。	35	35	35	
	学校行事	4月 着任式 始業式 入学式 身体測定	7月 終業式	10月 皆生・ブライト・フェスティバル 避難訓練	1月 始業式	1年：30 2年：31 3年：42
		5月 校外学習 避難訓練	8月 始業式	11月	2月	
		6月 皆生スポレク祭、 宿泊体験学習	9月 修学旅行	12月 終業式	3月 卒業式 修了式 離任式	

4 生徒の実態、特性

- ・障がいの重度・重複化（知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい等）、多様化傾向にあり、生活全般に介助を要する。
- ・日常生活動作の全般に介助が必要であり、経験の拡大に支援を要する。
- ・日常的に医療的ケアを必要とする生徒が増えている。
- ・全員が知的障がいを併有し、知的障がい教育課程代替や自立活動主体の教育課程による個に応じた指導内容の精選と指導方法の工夫が必要である。
  - I型：中程度の知的障がいを有する生徒が多く、知的障がい特別支援学校の教科学習を中心とした指導が適している。
  - II型：重度の知的障がいを有する生徒が多く、教科学習と自立活動を組み合わせた指導が適している。個別と小集団での学習を組み合わせることにより、より高い学習効果が期待できる。
  - III型：より重度の知的障がいを有する生徒が多く、自立活動を主として学習する方が適している。個々の生徒の課題解決のためには、個別を主とした学習形態の方がより高い学習効果が期待できる。

5 各教科等を合わせた指導

- ・日常生活の指導 II型：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、道徳、自立活動
III型：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、道徳、自立活動
- ・生活単元学習 I型：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、外国語、道徳、自立活動、特別活動
II型：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、外国語、道徳、自立活動、特別活動
III型：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、職業・家庭、外国語、道徳、自立活動、特別活動

6 研究課題：

7 特色ある教育活動

- ・学校間交流（近隣の中学校）や地域交流を実施し、多様な交流及び共同学習を通して経験の拡大を図り社会性を育てる。
- ・将来の生活を考える機会になるように進路体験学習・宿泊体験学習を実施し、日頃の学習に生かす。

8 備考

- ・授業の1単位時間は45分とする。
- ・道徳にあつては、全教科・全領域で指導する。
- ・個に応じた指導を重視し授業時間数に幅をもたせ、教科・領域等の時数は生徒の実態を考慮して決定する。なお、年間総授業時数は教育課程毎に全学年同一とする。
- ・給食時間に給食指導を毎日30分、自立活動として実施する。給食指導の時間は、総計117時間とする。
- ・授業日数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	1年 16	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	200
	2年 17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	17	201
	3年 17	18	22	17	1	19	21	19	16	14	20	8	192

平成27年度 鳥取県立皆生養護学校 中学部（訪問学級）教育課程

1 教育目標 「高めよう自分の力 広げよう自分の世界 伝えよう自分の思い 」

2 努力点・重点

- ・家庭や医療機関との連携を密にしながら、生徒の的確な実態把握と発達に応じた指導の充実を図る。
- ・個に応じた体験的活動を継続、発展させながら、コミュニケーション能力等社会性の育成を図る。

3 年間授業時数等

指導の形態	教科等	努力点	1～3年			
教科別 領域別 の指導	道徳	・様々な経験を通して、周りの人や物に働きかけようとする意欲や態度を育てる。	35 ～280			
	自立活動	・指導のねらいを明確にし、姿勢・動作・体力等の維持・向上に努める。 ・個々の発達段階を捉えた感覚を引き出す援助やコミュニケーション				
各教科等を 合わせた 指導	日常生活の指導	・日常生活の基本動作や生活リズム、健康状態の維持・安定を図る。	0 ～245			
	生活単元学習	・生徒の興味関心に基づいた活動を取り入れ、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促しながら身体の諸機能の向上を図るとともに、自発的に活動する意欲を育てる。				
計			70 ～280			
特別活動	学校行事	4月 着任式 始業式 入学式 身体測定	7月 終業式	10月 皆生・ブライト・ フェスティバル 避難訓練	1月 始業式	1年 : 6～24
		5月 避難訓練	8月 始業式	11月	2月	2年 : 6～25
		6月 皆生スポレク祭	9月	12月 終業式	3月 卒業式 修了式 離任式	3年 : 6～24

4 生徒の実態、特性

- ・病名・障がいとしては、重度・重複化（知的障がい・視覚障がい・聴覚障がい等）、多様化傾向にある。
- ・日常的に医療的ケアや生活全般に介助を要する。
- ・障がいのため行動が制約されている。

5 各教科等を合わせた指導

- ・日常生活の指導：国語、社会、数学、理科、音楽、職業・家庭、道徳、自立活動
- ・生活単元学習：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、職業・家庭、外国語、道徳、自立活動、特別活動

6 研究課題：

7 特色ある教育活動

- ・地域の医療機関や行政・福祉機関と密接な連携を取りながら指導にあたる。
- ・体験的活動を大切に、人や物へかかわる力や自己表出の力の育成に努める。
- ・将来の生活を考える機会になるように進路体験学習・宿泊体験学習を実施し、日頃の学習に生かす。
- ・保護者・家族の意向を尊重し、共通理解を図りながら指導にあたる。

8 備考

- ・授業の1単位時間は45分とし、1回の授業は2単位時間とする。
- ・授業は、生徒の実態に合わせて1週間に4回まで実施する。
- ・道徳にあつては、全教科・全領域で指導する。
- ・個に応じた指導を重視し、必要に応じて授業時間数に幅をもたせる。